

# 第7章 均衡ある県勢の発展と総合的な地域づくり

## ① 地域の個性を生かした県政の推進

### 施策指標の動き

■で網掛けしている指標値は見込値です。

達成度を進捗率の範囲に応じて5つに区分しています。

AA...進捗率100%以上, A...進捗率70%以上100%未満, B...進捗率40%以上70%未満, C...進捗率0%以上40%未満, C-...進捗率マイナス

施策指標名		当初値	H13	H14	H15	H16	H17	目標値 (H17)	達成度	達成状況の評価 (後期実施計画5年間)
中和地方拠点都市地域の事業着手率(%)		71.6 (H11)	72.8	75.1	75.6	75.8	76.6	97.2 (H14)	C	香芝市高山台土地区画整理事業や、南阪奈道路、国道165号大和高田バイパスの完成など、都市基盤の整備に努めたが、指標値は目標を大きく下回る見込み。
過疎地域内の事業所数(箇所)		4145 (H11)	3859			3485		4080	*	過疎対策事業を講じたが、少子化、高齢化による若年者比率の低下をはじめ、厳しい社会経済情勢の影響を受け、指標値は目標を大きく下回った。
道路の 走行時間(分)	五條市～十津川村	90 (H11)	90	88	88	93	93	85	C-	上野地バイパス及び野尻拡幅の完成供用により時間短縮されたが、国道168号五條市宇井地内の地すべりによる迂回の影響を受け、指標値は当初値を下回った。
	橿原市～下北山村	125 (H11)	125	115	115	115	115	120	AA	伯母谷道路の完成供用や県道桜井吉野線の新鹿路トンネルの開通により、指標値は目標を達成した。
	榛原町～御杖村	35 (H11)	35	32	32	32	32	30	B	H14年度に土屋原バイパスの完成供用したことから時間短縮されたが、指標値は目標を下回った。
過疎地域の医療・福祉従事者数(人)		294 (H10)						535 (H16)	-	H12年度から介護保険制度が始まり、訪問介護事業が民間法人により実施されたことにより、ホームヘルパー従事者数が把握できないことから、達成状況の評価はできなかった。
過疎地域の水洗化人口比率(%)		32.7 (H10)	44.3	46.2	46.5	46.5	46.5	45	AA	合併処理浄化槽の設置が促進されたことから、指標値は目標を達成できる見込み。
過疎地域への観光客数(万人)		556 (H10)	623	607	600	652	691	670	AA	魅惑体験フェスティバルや世界遺産登録記念フェスタの開催など地域の魅力を発信するとともに、施設整備を進めたことから、指標値は目標を達成できる見込み。
明日香村への観光客数(万人)		67 (H10)	77	77	76	77	79	100	C	県立万葉文化館などの拠点施設の整備や周遊・観光に資する道路整備を進めるとともに、行催事の定着を図り、観光客数の確保に努めたが、指標値は目標を大きく下回る見込み。
明日香村の下水道普及率(%)		62.1 (H11)	73.9	78.0	88.1	83.8	85	85	AA	公共下水道事業及び特定環境保全公共下水道事業の推進を図ったことから、指標値は目標を達成できる見込み。